

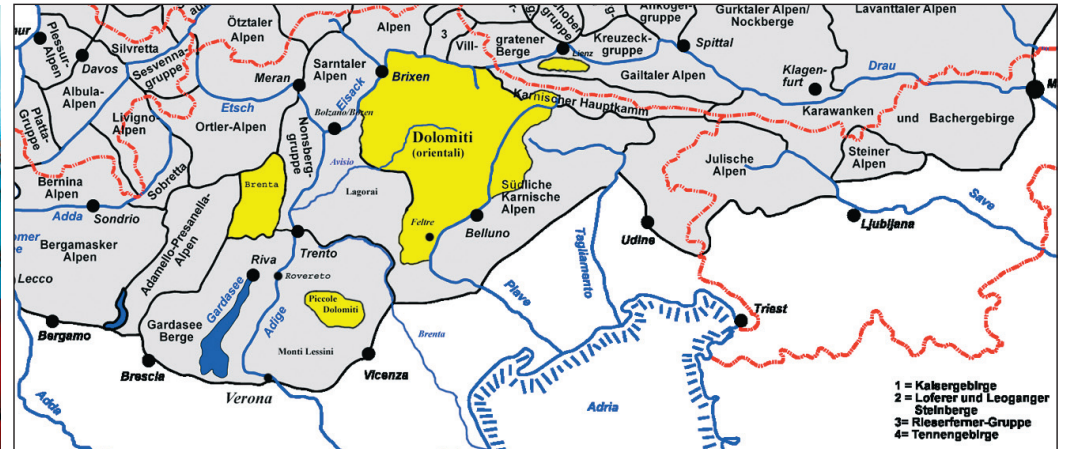
# ドロミティがユネスコの世界自然遺産に



2009年6月26日、イタリアのドロミティが世界自然遺産に指定された。イタリアではエオリア諸島に続いて2番目の世界自然遺産の仲間入り。1992年に既にドロミティの世界自然遺産運動を進めた登山家のライノルド・メスナーは、「ユネスコの世界自然遺産は、アルト・アディジェだけでなく、トレント、ボルザーノ、ベッルーノ、ポルデノーネ、ウーディネも含む。」と述べ、「大衆をねらった観光だけでなく、自然を尊重し、保護していくことを十分に意識した観光の推進を望む契機となれば」としている。

GianAngelo Pistoia

ドロミティの地図 (黄色部分) (ウィキペディアより)



こんなVitaのインタビュー

## メスナーの5つの山の博物館

私が、Castel Juval (ジュヴァル城) という城塞で夏場を過ごすラインホルト・メスナー氏を訪ね、インタビューしたのは今年5月の中旬。新しい冒険 (どこかの砂漠を横断するというのだが、詳しくは教えてもらえなかった) への出発直前だった。この記事が出る頃には、氏はもうその冒険を終えていることだろう。

ジュヴァル城は、ロンゴバルド族の小さな要塞が十四世紀に城塞となり、十六世紀に貴族がルネサンス様式の住居を加えたもの。その後廃墟化した。二十世紀初めに修築された。1983年にメスナーが買い取り、改装を重ねて現在は博物館としても機能している。

メスナーさんは、エベレストに世界で初めて、酸素マスクなしで、しかも単独の登頂を果たし、また世界の8000メートル級の14の山をすべて制覇なさいました。さらに、これといった特別な装備なしで南極点を通過しつつ南極大陸横断を果たした、数少ない冒険家として知られておられます。まさに「生きた伝説」というべき存在です。ずばり、メスナーさんはどうしてこのような冒険をなさるのであるのか？ 私の冒険の意味は、「人間が生きることができないような場所」へ私という人間が行くことで、アクセス不可能なものをアクセス可能にするということです。でも、あくまでも自然を尊重しながらということが条件です。



地域住民の経済発展を訴えた山の価値の憲章「Carta dei valori delle montagne」を提出。著書多数。詳しくはドイツ語のサイト<http://www.reinhold-messner.de>を参照。

ラインホルト・メスナー：Reinhold Messner。1944年、ドイツ語圏の南チロル地方、イタリアのアルト・アディジェ州に生まれる。1978年、世界で初めて酸素マスクなしでエベレスト登頂。1989年12月～1990年2月、フーフスと共に南極点を通過しつつ南極大陸横断。他にも数々の冒険を重ねる。1999年～2004年6月、欧州議会の議員を務め、「山」という自然の保存と、そのための

環境を守るための熱心な運動家であるメスナーさんは、山が誰にでも、そしてどんな手段を使ってでも征服されることには、反対されているわけですね？

2500メートルから3000メートル級の山に関しては、登頂のためのロープウエーとかホテルがあるのは理解できます。でもそれより高い山は、「もっと山として尊重され、登頂のためにそれなりの訓練がなされ、金銭に結びついた見せびらかしの精神が入りこまないようにすること」を要求してきます。山のその要求に反すると、アルプスやヒマラヤの山がそうですが、山も復讐します。人間が自然と平和に共存することを主張されているわけですね。メスナーさんは他方で、世界のいろいろな民族が互いに平和に共存することも主張されています。特に1999年から2004年6月まで、イタリアの「緑の党」の欧州議会議員として、主張されていましたね。

それについてはいろいろな物議をかもし出しましたが、幸い、山のこんなに高い所までは、世の中の喧嘩は追いかけてきません。ここジュヴァル城とチベットの山だけが私の憩いの場です。山は想像力をかきたて、新しい考えや将来の計画を産み出させる魔法の力を持っています。これこそ、見直すべき山の価値です。

山の価値ということに関しては、新しい本を準備され、多くの講演もこなされているとか。また、Messner Mountain Museum (メスナーの山の博物館) という名前で、トレンティーノ・アルト・アディジェ州とヴェネト州で5箇所の山の博物館設立を実現されていますよね。

ずいぶん昔から、私の夢を具体化するためのパートナーを探していました。その夢とは「雲の上に出会う場所を作る」ことで、世界の山々を語り、本当の高山の姿を愛し、高い山の上に、山をもっと意識した新しい



メスナーが夏を過ごし、山の博物館のひとつとなっているジュヴァル城 (写真左上) と、展示されている彫刻の一部 (写真上2点)

タイプの観光を誕生させること。ドロミティの諸渓谷の住民に、山と真の形で結びついた発展の機会を与えることでした。そしてその夢は、2002年にヴェネト州とベッルーノ県のチビアーナ市の協力を得て実現することができました。

ベッルーノ県のドロミティ地域にある2,181メートルのモンテ・リーテ山頂には、ECの融資も得て、古い軍の要塞を利用したMuseo delle Dolomiti (ドロミティ博物館) が誕生したのです。これはヨーロッパで最も高い所にある博物館です。私の方からは、山からの貴重な出土品や、絵画作品、写真や様々な芸術作品、ドロミティの民俗を理解するにも重要な山の歴史の資料を提供しました。また、2004年には、ボルツァーノ県のCastel Firmiano (フィルミアノ城) の廃墟を利用して、山にちなんだフェスティバルや会議が開催できるようにし、ゴミの置き場所と化してしまったカイゼルベルク丘陵とその一帯の価値を見直すことが始まりました。フィルミアノ城は今後、「5つのメスナーの山の博物館」の中心となるはず。そして、ここジュヴァル城の博物館とAlpine Curiosa (アルピーネ・クリオーザ) 博物館も現在既に活動しており、残るもう一つは「世界の山々の伝統と民俗の博物館」となる予定で、トレンティーノ県のLusernaが候補に上がっています。

本日は、ありがとうございました。

(構成・訳 Mayumi Sasao)

インタビュー・文・写真  
GianAngelo Pistoia

### 現在開いているメスナーの山の博物館

●Messner Mountain Museum "Juval"  
枝の主日 (復活祭の1週間前の日曜日) ~ 6月30日 / 9月1日 ~ 11月中旬、案内ガイド付きのみで一般に公開 (水曜日を除く。10時 ~ 16時)。予約・案内は0475-221852。ジュヴァル博物館へはNaturnoのVal Senalesから往復バスが出ている (Tel.0473-668058)。NaturnoへはMeranoからバスまたは車で。

●Messner Mountain Museum "Dolomites Monte Rite"  
住所 Monte Rite 32040 Cibiana di Cadore (Belluno) / サイト [www.museonellenuvole.it](http://www.museonellenuvole.it)  
観光案内所 Ufficio Turistico di Valle, Venas, Cibiana - Via XX Settembre - 32040 Valle di Cadore (Belluno) Tel.0435 501527/ Fax: 0435 50741/ uffturvalle@libero.it  
山のガイドの派遣事務所 Le Montagne raccontano... Tel. & Fax 0435-30003

●Messner Mountain Museum "Alpine Curiosa" ("Ortles")  
住所 Solda, Casetta delle Pulci 39020 Stelvio (Bolzano)  
Tel. 0473 613015/ Fax 0473 61318  
観光案内所 Regione Vacanze Ortles nel parco nazionale dello Stelvio - Via Principale n. 72 - 39029 Solda (Bolzano) Tel.0473 737060/ Fax 0473 613182/ サイト [www.sulden.com](http://www.sulden.com)  
info@sulden.com

